

第 28 回議会報告会 報告書

地域名	三谷地域		
年月日	令和 7 年 10 月 22 日 (水)	会場名	三谷多目的集会センター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 5 分
参加数	男性 17 人	女性 3 人	合計 20 人
班 長	前田 稔	司会者	前田 稔
報告者	藤原 芳巳	書記	井戸 弘美
班員名	前田 稔、藤原芳巳、井戸弘美、津崎和男		
市 民		対 応	
報告に対する質疑	<p>① 学童クラブの ICT 化とはどのようなものか。指導の先生にも何らかの費用が発生するのか。</p> <p>② 一般質問の時に、パネルを用いるなど視覚的な説明が出来れば理解しやすいが条例云々で実現しないという声があったが、導入予定はどうか。</p>	<p>① 国の事業で、全国 10 自治体枠の中で、採択を受けたもの。職員の出退勤、児童の入退室管理などを自動化する。保護者、市、学童クラブ間の情報共有もできるシステムとなる。国の補助金で行う事業で、先生や保護者に費用は発生しない。</p> <p>② 現在議会運営委員会で、「議会運営の申し合わせ事項と慣例」についての見直しを行っている。ご発言のパネルの使用についても議論の対象になっており、実現に近く方向で進むと思われる。</p>	
市 民		対 応	
意見交換会での質疑	<p>① 養父市は高齢化が進み、農業従事者も減り、耕作放棄地が増えている。地権者が誰なのかわからない土地がある。さらに相続もあり、ハンコも取れない。地域として耕作地を守るには、地権者に係る法整備が必要ではないか。</p> <p>② 地籍調査が養父市ではどのあたりまで進んでいるのか、もっと早く進めてほしい。高齢化で立会もできなくなる。</p>	<p>① 地籍調査による整理と、固定資産税の納付者から地権者を確定出来ると考える。また、全ての相続人のハンコがなくても所有者の移動ができる法律の緩和もある。さらに、土地の相続については、法律が変わり、登記が義務付けられたことで、地権者の確定は進むと考えられる。</p> <p>② 地籍調査の進捗は、令和 6 年度で 35.1% である。IT や航空写真を使ったセンシング技術で今後は調査が加速していくと聞いている。</p>	

意見交換会での質疑	<p>③ 高校生との意見交換をされているが、意見をもらって若者の期待に応えられる動きはあるのか。</p> <p>④ 議会報告会は夜間ばかりだが、高齢化で参加しづらいし、友人も誘いにくい。昼間の時間帯に実施できないか。</p> <p>⑤ 過疎化・高齢化の中で、民生委員・民生協力委員などの活動への待遇改善が必要ではないか。また、合区では隣の区域のことは分からない。</p>	<p>③ 高校生との意見交換は、数年前から始めているが、高校生の思いを直接聞くのは議会報告会などと同じで、それをもとに議員が市の施策として何を提案していくのかが課題である。意見の反映については長い目で見ていただきたい。</p> <p>④ 議会報告会の開催時間や曜日については、議論に上がっている。今、議会改革推進特別委員会で多くの検討がされており、この中でも議論されている。</p> <p>⑤ ご存じのように、民生委員法では報酬はなく交通費など実活動に対して一定の費用弁償がなされている。養父市は、比較的予算も多く、県の基準よりも民生委員の配置人数も、協力委員数も多くなっている。</p>
	市 民	対 応
その他 (提言など)	<p>① 総理大臣が女性になった。養父市も女性議員が3人になった。議会における女性活躍の展望はどうか。</p> <p>② 村が管理する水道の整備に財源がない。上水道は高い。災害時の自衛設備としての観点からも補助金を求めたい。</p> <p>③ 一般質問で、30分の持ち時間を余らせる議員が多い、質問事項が多すぎるよりも論点を簡素化して深い議論をしていただきたい。</p>	<p>① 年齢層が60代、50代、30代の女性議員が参画した。女性目線に限定せず、市民と共に責任ある議論を進める姿勢でいきたい。今後も、女性・若年層の参画拡大を目指したい。</p> <p>② 上水道は、厚生労働省の安全基準を満たす必要がある。時代に逆行して、かつての村の水道に戻すことは現実的ではない。</p> <p>③ 施策の理解、現場の把握、エビデンスの重視などで、効果的な一般質問を実現していきたい。</p>
	備考 なし	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和7年11月13日

報告者 4班 班長 前田 稔